

高輪公園の再整備について

高輪公園の再整備について、区民参画により地域の意向や特性を反映し、基本設計を策定しました。

1 施設の概要

- (1) 所在地
港区高輪三丁目18番18号
- (2) 面積
5,916.95 m²
- (3) 開設年月日
昭和48年4月1日



※電子地形図(国土地理院)を加工して作成

2 背景

高輪公園(以下「本公園」といいます。)は閑静な住宅街に位置する街区公園であり、高輪保育園、高輪児童館、高輪いきいきプラザの複合施設に隣接し、憩いの場、遊び場として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代に親しまれています。また、地域のお祭りや防災活動など、様々な用途で活用されています。

一方で、本公園は地形の特性上高低差が大きく、園路がバリアフリーに対応していないことに加え、インフラ等の老朽化が進んでおり、公園施設の更新が必要です。また、災害時の一時避難や復旧活動の場としての防災機能の強化も課題となっています。

そのため、港区基本計画において、本公園を令和8年度までに設計を完了することとし、基本設計を進めています。また、本公園は、港区緑と水の総合計画において緑の拠点として位置づけているほか、港にぎわい公園づくり推進計画で、周囲のまちづくりに合わせ、機能強化を図り、再整備することとしています。さらに、環状第四号線沿道高輪地区計画(令和6年10月都市計画決定)で、地域に受け継がれてきたみどりや景観などを守り、次世代に継承していくことを目標としています。

これら各計画や現状の課題を踏まえ、既存の自然を生かしつつ、老朽化した施設を刷新し、誰もが安全・安心で快適に利用できる公園を目指します。

3 区民参画による検討（主な意見 11ページ～13ページ参照）

（1）ワークショップ

令和7年度に、隣接してお住まいの区民、公募区民、公園周辺の町会や保育施設の代表者、幼稚園PTAで構成するワークショップを開催し、参加者同士で意見交換を重ねながら再整備案を検討しました。

① 参加者（計16名）

近隣区民	5名
公募区民（区内在住、在学）	3名
高輪共和会 会長	1名
高輪北町親和会 会長	1名
高輪親睦会 会長	1名
高輪保育園 職員	1名
桂坂保育室 園長	1名
高輪幼稚園 PTA会長	1名
私立幼稚園PTA連合会 会長	1名
高輪児童館 館長	1名

② 開催状況

- 第1回：令和7年7月4日
- 第2回：令和7年8月2日
- 第3回：令和7年8月29日
- 第4回：令和7年10月3日
- 第5回：令和7年10月17日
- 第6回：令和7年11月7日

（2）子どもアンケート

公園利用者及び公園から半径500m以内の保育園や幼稚園、小学校等のゼロ歳～18歳の子どもと保護者を対象にアンケートを実施しました。

①回答者：計538名

②期間：令和7年6月21日～令和7年7月29日

（3）児童発達支援センター保護者アンケート

児童発達支援センターぱおを利用する子どもの保護者を対象にアンケートを実施しました。

①回答者：計12名

②期間：令和7年9月12日～令和7年9月26日

（4）出前講座

高輪台小学校の4年生を対象とした出前講座を実施し、意見収集しました。

①対象：計121名（全4クラス）

②実施日：令和7年7月1日

4 基本設計

本基本設計は、港にぎわい公園づくり推進計画及び「進めよう！おもてなし公衆トイレ」整備方針を踏まえるとともに、区民参画で寄せられた意見を反映して取りまとめました。

(1) コンセプト

『都市の中での貴重な自然を生かしながら、多世代が安全・安心に過ごせる多機能な公園』

キーワード：【自然と体験】【多世代】【多機能】【彩りあるエントランス】

(2) ゾーニング、動線計画

○出入口【彩りあるエントランス】

- ・東側1か所、南側2か所、北側1か所を設置
- ・複合施設の南側・東側出入口と接続する空間を設置
- ・花壇や花の咲く低木等を配置

○園路【多世代】

- ・高低差に対応するため、4%～5%勾配のスロープ（約97m）と階段を設置
- ・5%勾配：東側エントランス～中央多目的広場（幅員：3.0m、約58m）
- ・4%勾配：中央多目的広場～遊具広場（幅員：約1.8m、約40m）

○多目的広場【多機能】

- ・中央多目的広場：子どもが自由に遊べる広場（約1,074㎡）
- ・東側多目的広場：干満型じゃぶじゃぶ池、パーゴラ、ロングベンチ等を含む広場（約354㎡）

○遊具広場【多世代】

- ・乳幼児エリア（柵設置）と児童エリア
- ・乳幼児エリアと児童エリアの西側に健康遊具エリアを設置

○投球場【多世代】

- ・階段と5%勾配のスロープを設置

○水景施設【自然と体験】

- ・生き物が生息する池（約89㎡）を設置

○防災施設【多機能】

- ・かまどベンチ、マンホールトイレ、ソーラー照明を設置

○植栽【自然と体験】

- ・ケヤキやサクラ等の既存の樹木を生かしつつ、南側は隣接住民に配慮した中木及び低木で植栽
- ・中央多目的広場にはアドプト・プログラムなど区民等が育てることを想定した花壇を設置

○その他

- ・多様な利用者が休息でき、子どもを見守れるベンチを随所に設置
- ・トイレは従前と同様の場所に設置

(3) 施設計画

○舗装

- ・東側多目的広場：透水性平板ブロック舗装
- ・中央多目的広場：ダスト舗装
- ・遊具広場：ゴムチップ舗装
- ・干満型じゃぶじゃぶ池周辺：洗い出し舗装
- ・投球場：全天候型舗装
- ・園路は高炉スラグ舗装及び樹脂系舗装

○遊戯施設※

- ・複合遊具（1基）
- ・ブランコ（1基）
- ・鉄棒（1基）
- ・砂場（1か所）
- ・幼児用すべり台（1基）
- ・ハウス遊具（1基）
- ・投球場（バスケットゴール付き・1か所）
- ・干満型じゃぶじゃぶ池（1か所）
- ・健康遊具（2基）

※遊戯施設のインクルーシブ性に関しては以下の点を配慮

① 誰もが使いやすい遊具の選定

- ・保護者の手が届く高さのデッキやサポートしやすいワイド幅の階段を使用した複合遊具
- ・自分で姿勢を維持することが難しい子どもたちも利用できるハンモック型ブランコ

② 年齢に応じたゾーニング

- ・乳幼児エリアには柵を設け、年齢の異なる子ども同士の交錯を避けることで、安全性と心理的安心感を確保

○休養施設※

- ・背無しベンチ（4基）
- ・背付きベンチ（6基）
- ・スツール（3基）
- ・ロングベンチ（3基）
- ・テーブル付ベンチ（2基）
- ・テーブルとベンチ（1組）
- ・かまどベンチ（4基）
- ・東屋（1棟）
- ・パーゴラ（1基）

※樹木の緑陰や上屋の設置を活用し、暑さ対策を実施

○修景施設

- ・植栽
- ・花壇（6か所）
- ・プランター花壇（8か所）
- ・渚の銅像（1基）
- ・花のアーチ（1か所）
- ・池（1か所）

○管理施設

- ・園名板（1基）
- ・遊具説明板（1基）
- ・健康遊具説明板（1基）
- ・利用注意看板（1基）
- ・触知案内板（1基）
- ・沿革板（2基）
- ・車止め（5基）
- ・公園灯（14基）
- ・ごみ箱（1基）
- ・転落防止柵（約90m）
- ・スロープ・階段の2段手すり（約190m）
- ・駐輪場（2か所）

○便益施設

- ・水飲み場（2基）
- ・時計（1基）
- ・トイレ（2棟）※

※トイレは、令和8年度設計。男女兼用バリアフリートイレ、女性専用トイレ、男性専用トイレを設置予定。トイレ屋上に太陽光パネルを設置予定。

○防災施設

- ・かまどベンチ（4基）
- ・マンホールトイレ（10基）※
- ・ソーラー照明（2基）

※マンホールトイレの水源は、干満型じゃぶじゃぶ池の貯留槽を想定

○その他

機械室、倉庫

5 今後のスケジュール（予定）

令和8年2月

地元説明会

令和8年4月～令和9年3月

実施設計、関係機関との詳細協議

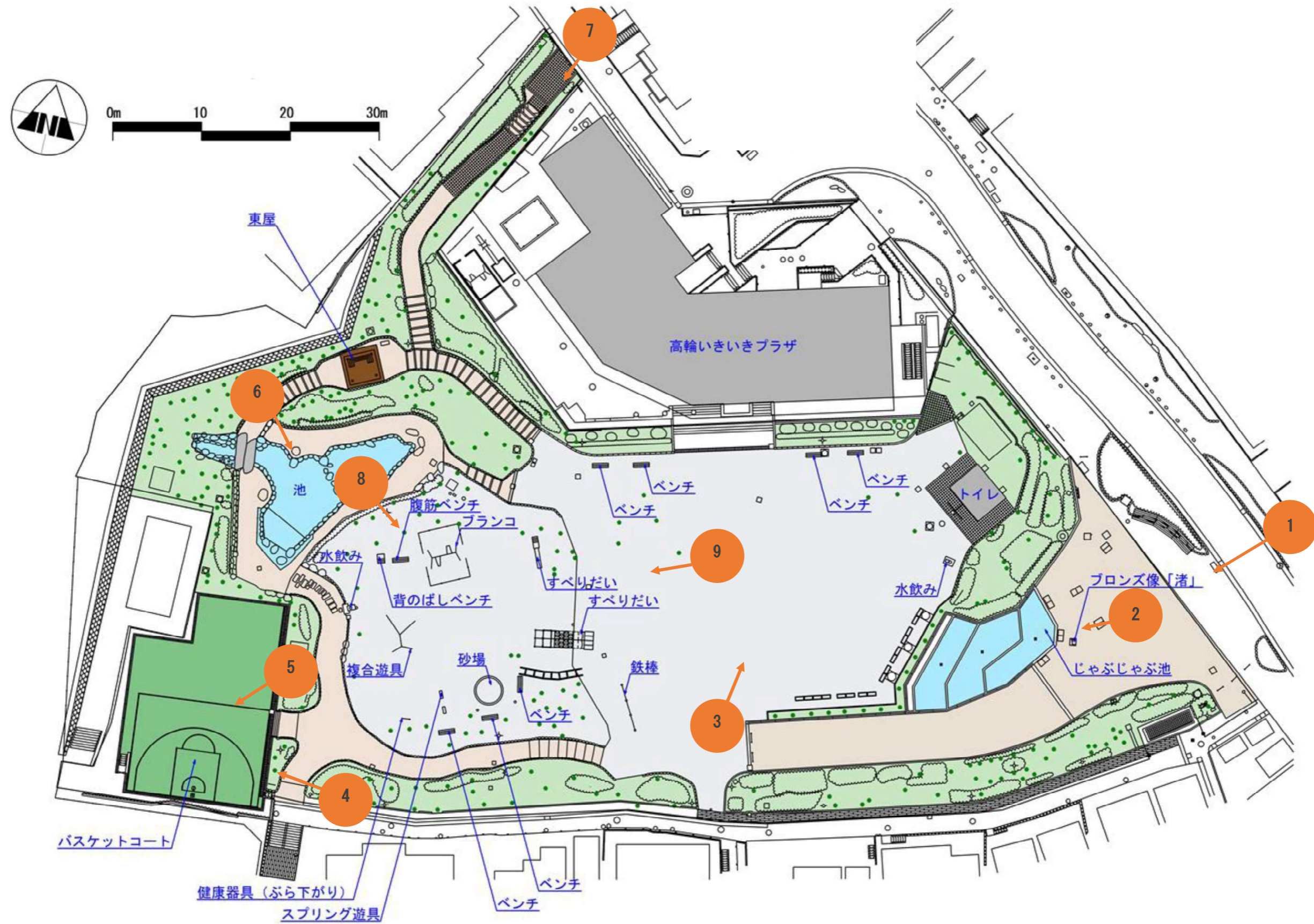
令和9年度

再整備工事着工

令和10年度

再整備工事しゅん工、供用開始

高輪公園の現況平面図



高輪公園の現況の写真

①幹線道路から東側エントランスを望む



②じゃぶじゃぶ池



③広場とトイレ



④西側エントランス



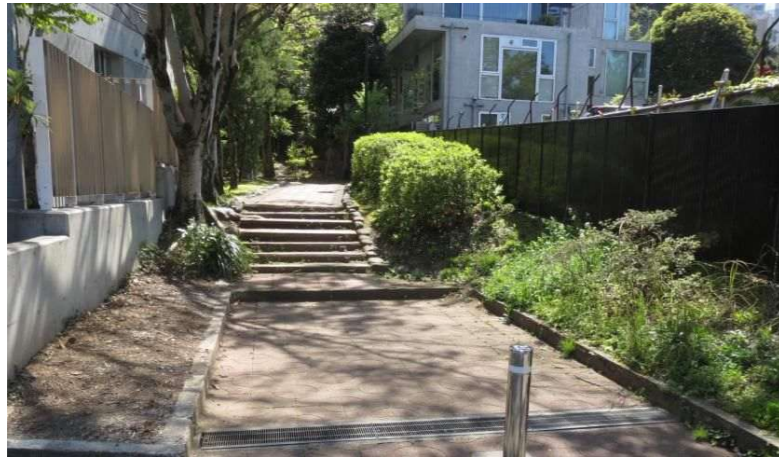
⑤投球場



⑥池



⑦北側エントランス



⑧遊具エリア西側



⑨遊具エリア東側



高輪公園 鳥瞰イメージ図



ワークショップの主なご意見と区の考え方

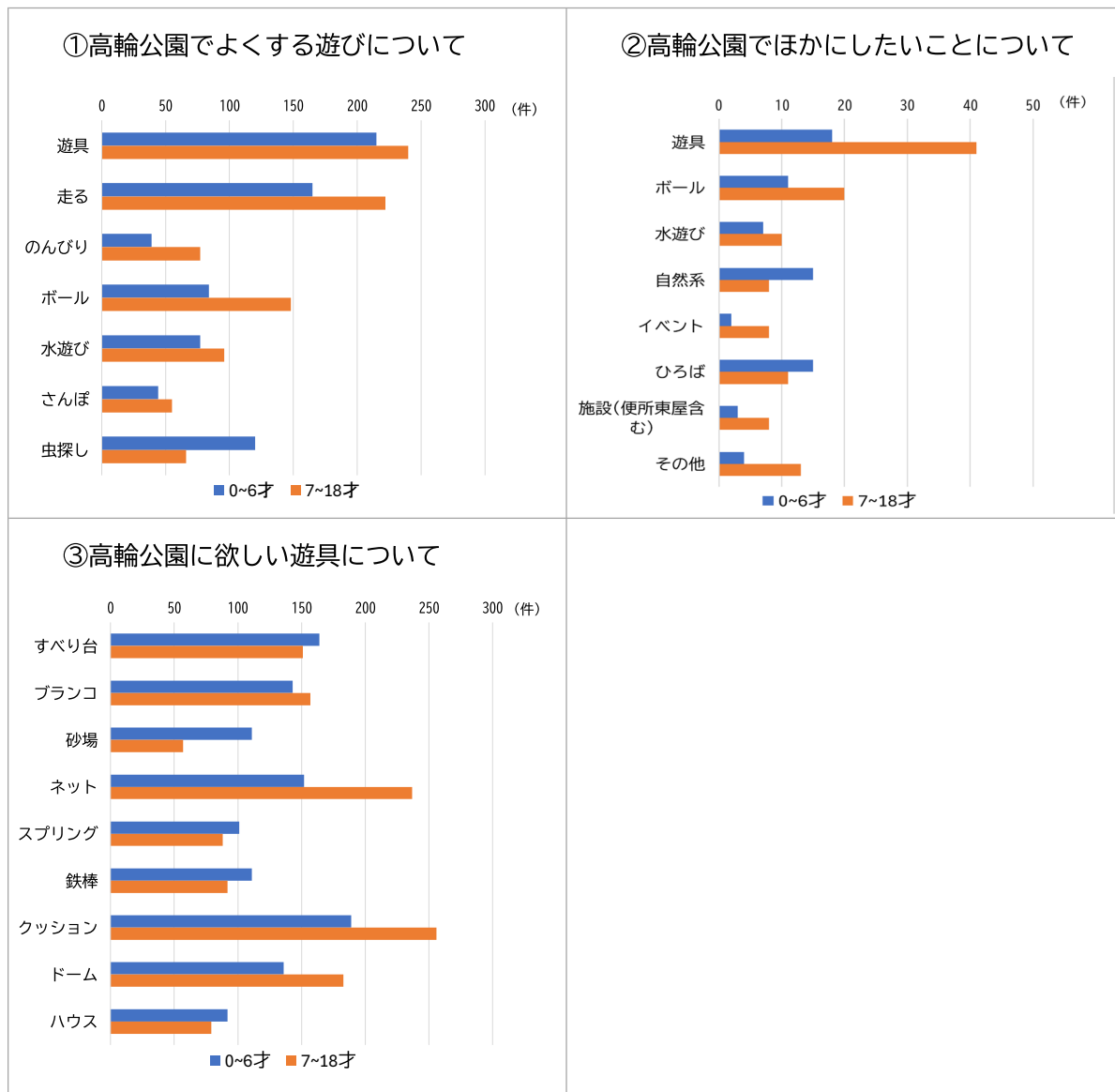
■実施期間 令和7年7月4日から令和7年11月7日まで（計6回）

No.	テーマ	ご意見	区の考え方
1	東側 エントランス 周辺	ウェルカム感のある彩りのあるエントランスにしたい。	東側エントランス両側に花壇を設置し、花の咲く中木や低木を新植します。
2		多目的に使える憩いの広場にしてほしい。	地域交流、憩いの場としても活用できる東側多目的広場、パーゴラ及びロングベンチを設置します。
3		駐輪場を設置してほしい。	駐輪場を設置します。
4	北側エントランス	花のアーチを設置してほしい。	花のアーチを設置します。
5	中央多目的広場	子どもが走り回れたり、保育園の活動でダンスをするスペースがほしい。今と同じ規模の広場がほしい。	既存と同等面積の中央多目的広場を設置します。
6	じゃぶじゃぶ池	段差がない、噴水などが楽しめるじゃぶじゃぶ池がほしい。	噴水と浅く水が張る干満型じゃぶじゃぶ池を設置します。
7		じゃぶじゃぶ池の近くに日陰ができるパーゴラを設置してほしい。	干満型じゃぶじゃぶ池の南側にパーゴラとロングベンチを設置します。
8	遊具	乳幼児用遊具と児童用遊具はゾーン分けをしてほしい。	乳幼児エリアと児童エリアにゾーン分けし、乳幼児エリアには柵を設置します。
9		乳幼児エリアは柵で囲ってほしい。	
10		乳幼児エリアに砂場、ハウス遊具、すべり台、見守り用ベンチを設置してほしい。	乳幼児エリアに、砂場、ハウス遊具、すべり台、ベンチを設置します。
11		鉄棒、ブランコ、すべり台は引き続きほしい。	鉄棒、ブランコ、すべり台を設置します。
12		遊具の色は自然になじむものにしてほしい。	遊具やゴムチップ舗装の色は、自然になじむ景観色にします。
13		舗装の色は自然系の色のゴムチップ舗装にしてほしい。	
14		健康遊具を設置してほしい。	健康遊具を設置します。
15	園路	バリアフリー化によって広場や遊具等のスペースが圧迫されないよう効率的な配置としてほしい。	公園施設をなるべく広く確保できるよう、バリアフリー園路を一本に集約します。
16	池周辺	生き物がたくさん住める池にしてほしい。	生物多様性に配慮した池の循環設備を設置します。
17		子どもが生き物と触れ合えるよう落ち葉のベッドを設置してほしい。	エコスタック（木の枝や石などを積み重ね、生きものを増やす仕掛け）を設置します。
18	投球場	投球場を残してほしい。	バリアフリーに対応した投球場を設置します。
19	植栽	子どもが植物とふれあえる花壇がほしい。	子どもが植物を近くで観察したり、育てたりできるふれあい花壇やプランター花壇を設置します。
20		たくさんの樹木があり木陰がある公園にしてほしい。	既存の健全な樹木は極力残しつつ、中央多目的広場の南側や東側エントランス付近に新植します。
21	休憩施設	大人もくつろげるスペースがほしい。	園内の各所にベンチを設置します。 また、東屋は拡張し、東屋や木陰の下などにベンチやスツールを設置します。
22		東屋はくつろげる空間にしてほしい。	
23	防災	防災機能のある公園としてほしい。	かまどベンチ、マンホールトイレ、ソーラー照明を設置します。
24	トイレ	トイレをシンプルでおしゃれにしたい。	いただいたご要望を参考に、令和8年度に設計します。

子どもアンケートの主なご意見と区の考え方

■実施期間 令和7年6月21日から令和7年7月29日まで

(1) アンケート結果



※複数回答可としているため、対象者数と件数は一致しない。

(2) 区の考え方

- ・ご意見をもとに、ゾーニング、施設計画します。
- ・遊具は乳幼児エリアに砂場、幼児用すべり台、ハウス遊具を設置します。
- ・児童エリアに複合遊具（ネット、すべり台等）、ブランコ、鉄棒を設置します。

児童発達支援センター保護者アンケートの主なご意見と区の方針

■実施期間 令和7年9月12日から令和7年9月26日まで

No.	テーマ	ご意見	区の方針
1	遊具	年齢に応じたゾーン分けをしてほしい。	乳幼児エリアと児童用エリアにゾーン分けをします。
2		遊具のバリエーションを増やしてほしい。	ブランコや複合遊具は、姿勢を自分で維持することが難しいなどサポートが必要な子どもも使えるインクルーシブな遊具を設置します。
3		水遊びができると嬉しい。	浅く水が張る干満型じゃぶじゃぶ池を設置します。
4		順番待ちなどのルールが子どもにわかりやすくしてほしい。	足跡マークを示すなど、滑り台やブランコの手前で順番待ちがしやすいように工夫します。
5		刺激が強すぎない落ち着いた色合いにしてほしい。	遊具やゴムチップ舗装の色は、自然になじむ景観色にします。
6	動線	車椅子やバギーが通りやすい段差のない動線がほしい。	遊具広場までのバリアフリー園路を確保し、段差の無い動線を整備します。
7	休憩施設	休憩できる施設がほしい。	東屋や児童エリア周辺、乳幼児エリアの木陰の下にベンチを設置します。干満型じゃぶじゃぶ池の南側にパーゴラとベンチを設置します。
8		遊具の近くに日陰付きベンチを複数配置してほしい。	
9	トイレ	誰もが安全・安心に使えるトイレに整備してほしい。	いただいたご要望を参考に、令和8年度に設計を行います。

出前講座の主なご意見と区の方針

■実施日 令和7年7月1日

(1) 学年全体の「高輪公園にあったらいいな」と思うものの順位

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
ターザンロープやボルダリングなどのアスレチック遊具	走り回れる大きな広場	生きものがたくさんいる自然	魚やトンボなどの生きものがすむ池	ブランコやすべり台などの遊具	水遊びができる池	さんぼやピクニックなど、のんびりできる場所

(2) 各クラスのご意見と区の方針

No.	テーマ	ご意見	区の方針
1	広場	おにごっこができる広い場所がほしい。	既存と同等面積の中央多目的広場を設置します。
2	遊具	アスレチック遊具がほしい。	複合遊具にアスレチック要素やすべり台を組み込みます。
3		長いすべり台がほしい。	
4		障害がある子どもも遊べる遊具も置いてほしい。	ブランコや複合遊具は、姿勢を自分で維持することが難しいなどサポートが必要な子どもも使えるインクルーシブな遊具を設置します。
5	休憩施設	暑いから日陰が欲しい。	東屋や木陰の下などにベンチを設置します。
6		大人やお年寄りがのんびりできるようにしたい。	
7	じゃぶじゃぶ池	近くにプールがないから水遊び場がほしい。	浅く水が張る干満型じゃぶじゃぶ池を設置します。
8	池	自然があると自由研究に活用できる。	生物多様性に配慮した池の循環設備を設置します。また、エコスタック（木の枝や石などを積み重ね、生きものを増やす仕掛け）を設置します。